

## 看護部ブログNo.5

こんにちは、聖隷太郎です。

今年は元旦に能登半島を襲った地震から始まり、気がつけば震災から2ヶ月が過ぎようとしています。聖隷富士病院では、災害によって自施設が被災した場合や、その時、私たちは何をすべきなどを考える機会として年2回 防災訓練を実施しています。今回は、その模様を少しご紹介させていただきます。

下記は、夜間を想定した火災訓練の様子です。病院に「炎？」と思われる方は多いと思います。実は病院には火気を危惧する薬剤や物品など多くのものが存在します。また、搬送訓練は火災に止まらず、避難する上で患者様を安全な場所まで誘導する大切な活動となります。では、4階病棟の訓練の様子を少しのぞいてみましょう。

こんにちは、4階病棟です。当院では、3年ぶりの院内夜間火災訓練が行われました。訓練には、事務職をふくむ全部署が参加し約1時間にわたり行いました。当院での防災訓練を経験していないスタッフが中心となり、普段入院している患者さんをイメージし取り組むことができました。4階が火元であることを想定して、消火栓からの散水ホースでの模擬消火訓練、本部への連絡、自分で動けない模擬患者さんを病棟から避難場所まで運ぶ搬送訓練を行いました。患者役を務めた職員は、「治療を受ける側の不安や孤独を体験できてよかった。救助する側になった際に役立てたい」とコメントしていました。災害はいつ起こるか分かりません。患者様やご家族が安全に過ごしていただくよう、今後も務めていきます。



↑ 消火訓練



↑ 本部に電話連絡



← シーツ法での搬送